

児童発達支援における自己評価結果：保護者用（公表）

公表:令和3年（2021年）7月1日

事業所名 こども療育研究室 Lulu大津

保護者等数 児童数: 15名・15家族 回収数15 割合100%（回収数/家族数）

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	1	0	・HPを見た時はもっと広く感じた
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	14	1	0	
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	3	2	・入口が階段。
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画書*1が作成されているか	15	0	0	
	5	児童発達支援計画には、児童発達ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	15	0	0	
	6	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	15	0	0	・半年前の計画と現時点での必要な計画を照らし合わせて修正できる日があってもいいのではないかと思います。
	7	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	14	1	0	
	8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	7	2	
	9	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15	0	0	
	10	児童発達支援ガイドの「児童発達支援に提供すべき支援」ねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	15	0	0	
	11	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*3等）が行なわれているか	6	6	3	
	12	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	14	1	0	

保護者への説明等	13	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの関係で難しいとは理解している。面談が定期的に声掛けがあってもいいのではとも思います。 ・今困っていること、どう対応したら事業所と連携できるのかなど聞いてもらえる日があれば嬉しいです。
	14	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催により保護者同士の連携が支援されているか	2	7	6	<ul style="list-style-type: none"> ・恐らくコロナがあるのでまだやった事がない ・未活動、未開催のため
	15	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	13	1	1	
	16	子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	0	0	
	17	定期的に開放やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	10	3	2	
	18	個人情報の取扱いに十分注意されているか	15	0	0	
非常時等の対応	17	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染対応マニュアル等策定し、保護者に想定した訓練が実施されているか	4	10	1	
	18	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	8	2	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練等は実施されているかもしれないがお知らせはないためどちらともいえないを選択。
満足度	19	子どもは通所を楽しみにしているか	14	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・通所した日は落ち着いていた気がします。
	20	事業所の支援に満足しているか	15	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな課題に取り組んでいただきありがとうございます。

*1 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、おかれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されて

*3 保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とする。